



2013年も無事、
植樹に行ってきました!

もみの木の植樹



わかさ生活は、ビルベリーの故郷フィンランドの大自然の恵みに感謝して

「日本・フィンランド友好プロジェクト」でサンタクロースと出逢った人数100名ごとに、facebookの記事に対して「いいね!」50コごとに、もみの木1本をサンタの森に植樹しています。今年もホームページわかさの広場のベリーポイント交換企画で、皆様から応募いただいたベリーポイントから7本、2012年の「日本・フィンランド友好プロジェクト」の活動を通し35本、社内からも有志を集い、合計65本のもみの木を2013年9月に植樹しました。



サンタの森の入口です。



こちらがロヴァニエミにあるサンタの森です。道の両脇にもみの木がたくさん植えられています。もみの木は180~200年間ほど生き続け高いもので約40mの高さになります。

2012年9月の様子

わかさ生活の従業員が直接フィンランドに向かい、50本のもみの木を植樹しました。これからどれだけ大きく育ってくれるか、楽しみです。



植えたばかりのもみの木。
フィンランドの自然の恵みを
いっぱいを受けて育ちます。

現地の方に教わりながら
もみの木を植える
わかさ生活の従業員。



2011年の活動

フィンランドに植樹して6年が経ちました。もみの木は元気に育っています。

日本・フィンランド友好プロジェクトの始まりは2005年。
わかさ生活では2005年の9月に「もみの木」の植樹を行いました。
もみの木とはクリスマスに飾り付けをする時に使用される木です。
フィンランドにはサンタクロースが住んでいることで有名な「サンタクロース村」があります。
そのすぐ脇にある「サンタの森」にわかさ生活の従業員が感謝のしるしとして資金を出し合い、もみの木を約70本植樹しました。
わかさ生活の社長である角谷もフィンランドへ自ら赴き、植樹を行いました。
それから6年経った2011年、もみの木が元気に育っているのを見ることができました。

植樹当時の様子

フィンランドに植樹して6年が経ちました。もみの木は元気に育っています。



2005年のもみの木と植樹
をする従業員



植樹した時は青いプレートの高さくらいの大きさでした。このプレートには名前や記念日、植樹をした日が記載されており、自分の木を見つげられるようになっています。

6
年
後

2011年の様子

6年間の経ち、約2倍以上の大きさになったもみの木。
元気にすくすく育っています。



このような活動もわかさ生活は行っています。
他にも様々な活動があります。
興味を持たれた方はわかさ生活の企業サイトもぜひご覧ください。

"サンタの森"の植樹祭

2005年9月15日(木)

フィンランドには、本物のサンタクロースが住んでいることで有名な「サンタクロース村」があります。そのすぐ脇にある「サンタの森」では毎年9月頃、クリスマスツリーに使うことで有名な「もみの木」の植樹祭が行われます。約200年間生育する「もみの木」。この度、私たちもこの植樹祭に参加し、わかさ生活からは約70本ものもみの木を植樹しました。

この植樹祭では、現地の子どもたちが描くサンタクロースの絵コンテストも行われ、わかさ生活からも、わかさ生活マスコットキャラクター「ベリーベアくん」と、サンタクロースを描いたイラストを出展したところ、見事受賞し、子どもたちの絵と一緒に表彰していただきました。

今回視察したメンバー全員が、「フィンランドの自然の力はすごい！」と体いっぱいに感じました。わかさ生活はこれからも、北欧の大自然の恵みを大切に、その健康パワーを皆様にお届けし続けます。

